



Libero Canto

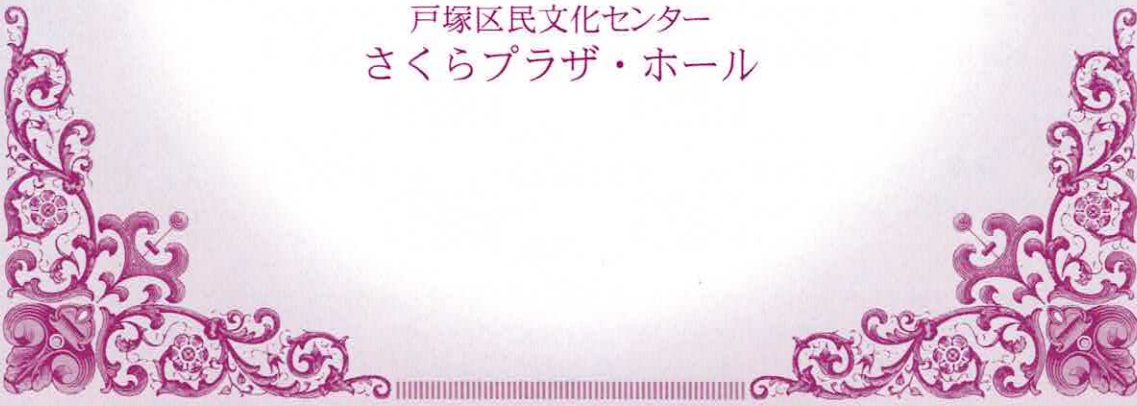
第 9 回

声楽名曲コンサート

Libero Canto の会

2023. 12/10 (日) 13:30

戸塚区民文化センター
さくらプラザ・ホール



ご挨拶

2020年2月中旬、私は羽田空港に向かうバスの中から横浜港に停泊するダイヤモンドプリンセス号をベイブリッジの眼下に見下ろして、恐る恐るウィーンへ出発しました。乗船客が新型コロナのために缶詰めになって当時大きな話題となっていました。ウィーンで1週間開かれた Libero Canto の国際声楽学会に出席するためでした。

会議を終えて私は幸い無事に帰還できましたが、イタリアから参加した仲間は、感染者が出た影響でフィレンツェに帰れず、日本もその直後から出入国に厳しい制限がかかりました。

それから3年間、声を出すこと自体が世に憚られるマスクの時代が続いてきました。声楽を志す人には非常に辛い不遇な時代でした。

そして本日、このように声楽コンサートをリアルで開催できますことは本当に喜ばしく、ご来場の皆様のご声援のお蔭です。出演者一同 心から感謝申し上げます。

どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみください。

Libero Canto Japan 長谷川 敏

(東京藝術大学、お茶の水女子大学、洗足学園音楽大学講師、茨城大学教授を歴任。二期会会員)



Libero Canto について

20世紀半ば、ウィーンのラヨシュ・サモシ教授によって開発された歌唱法、教授法のことです。「自由なる歌唱」という意味です。この歌唱法はイタリア・ローマにて「我々が既に忘れてしまった正当的ベルカント唱法である」と評価されました。7年前に逝去されたエドウィン・サモシ教授がこれを継承してウィーン、ニューヨークを中心に活動し発展させていました。Libero Canto Japanの長谷川は1973年より両教授の薫陶を受け、アジアではただ一人の認定された後継者としてこの歌唱法の伝播と発展に努めています。

Libero Cantoでは先ず各人の持つ歌唱時の悪い癖を取り除きます。そしてごく自然に楽な息のエネルギーを流して歌っていきます。クラシックの声楽にありがちな、構える、支える、保持する、気張る、響きや声を狙うといったことをやりません。力づくでなく、軽く明るい喉のトレーニングをして、身体本来のもつ自由な働きを引き出します。そうしてその人の本当の声のクオリティーと音楽とを正しく出していくものです。この方法は自然であるがために、自分のものにするにはかなりの忍耐の期間が必要ですが、熟達すれば優美で暖かく、音楽性に満ちた歌唱芸術が実現します。

Libero Canto Japan事務局

E-Mail b.i.z.en66@gmail.com

Tel 0466・29・1371